

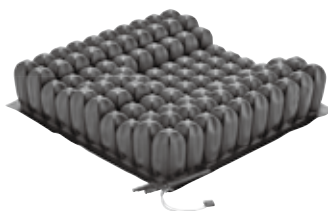
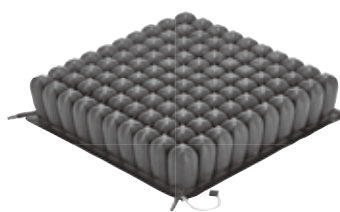
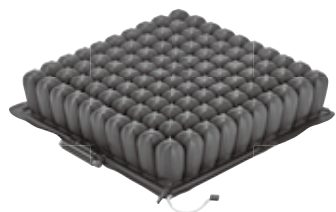
permobil

ROHO® DRY FLOATATION® (ロホドライフローテーション)

車いす用クッション

取扱説明書

T20200



各位：本書は、本製品のユーザーに必ず支給してください。

ユーザーご本人または介護をされる方へ：本製品を使用される前に、本書をお読みください。また、以降必要の際に参照できるよう大切に保管してください。

s h a p e f i t t i n g t e c h n o l o g y®

目次

本製品の用途	4
安全に関する重要情報	5-6
各部について	6
クッションの調整	7-9
カバーの取り外しと交換	10
トラブルシューティング	10
クッションとカバーのお手入れ	11-12
製品仕様	13
保管・廃棄・リサイクル	13
限定保証	13



製品には ROHO® (ロホ) DRY FLOATATION®, (ドライフローテーション)、ISOFOLO® (アイソフロー)、Yellow Rope® (イエローロープ)、shape fitting technology® (シェイプフィッティングテクノロジー)、CONTOUR SELECT® (コンツァーセレクト)、ENHANCER® (エンハンサー)、QUADTRO SELECT® (クアドトロセレクト)、HIGH PROFILE® (ハイトाइプ)、MID PROFILE™ (ミドルタイプ)、LOW PROFILE® (ロータイプ) をはじめとする複数の特許および商標権の対象となるものがあります。Zytel® は DuPont の登録商標です。

製品情報は変更される場合があります。

© 2007, 2020 Permobil

2020年10月1日改訂

本製品の用途

ROHO® DRY FLOATATION® (ロホドライブローテーション) は、さまざまな調整が可能な空気充填式エアセルデザインの車いす用座面クッションです。重量制限はありませんが、ご使用になる方に合わせて適切なサイズをお求めください。

次の各製品はDRY FLOATATION®(ドライブローテーション) テクノロジーによって一人ひとりの座面形状に合わせ、皮膚・軟部組織の保護、位置調整を実現しています。

- ROHO® LOW PROFILE® Dual Compartment Cushion (2バルブクッション ロータイプ)
- ROHO® MID PROFILE™ Dual Compartment Cushion (2バルブクッション ミドルタイプ)
- ROHO® HIGH PROFILE® Dual Compartment Cushion (2バルブクッション ハイタイプ)
- ROHO® QUADTRO SELECT® LOW PROFILE® Cushion (クアドトロセレクト ロータイプ)
- ROHO® QUADTRO SELECT MID PROFILE™ Cushion (クアドトロセレクト ミドルタイプ)
- ROHO® QUADTRO SELECT HIGH PROFILE® Cushion (クアドトロセレクト ハイタイプ)
- ROHO® CONTOUR SELECT® Cushion (コンツァーセレクト)
- ROHO® ENHANCER® Cushion (エンハンサー)

次の各製品はドライブローテーションテクノロジーによって一人ひとりの座面形状に合わせ、皮膚・軟部組織の保護を促す環境を実現しています (日本名: ロホ ロー / ミドル / ハイタイプ)。

- ROHO® LOW PROFILE® Single Compartment Cushion (1バルブクッション ロータイプ)
- ROHO® MID PROFILE™ Single Compartment Cushion (1バルブクッション ミドルタイプ)
- ROHO® HIGH PROFILE® Single Compartment Cushion (1バルブクッション ハイタイプ)

ご使用になる方のニーズに沿った適切な製品は、本書に記載の用途のみを根拠とせず、座位調整に詳しい医師が選択してください。

本書に記載されている製品の目的は、座位保持装置や移動用装置と治療介入を含む総合的な介護計画または治療計画の一部です。介護計画または治療計画は、座位調整に詳しい医師がご使用になる方の身体的なニーズと病状を評価して立案してください。

製品を適切にご使用いただくため、視覚・読解・認知障害についても医師が評価し、介護者によるサポートや他の支援技術 (大きく印刷した説明書など) の必要性を判断してください。

安全に関する重要事項



警告

- さまざまな原因により、皮膚・軟部組織が損傷する場合があります。1日1回は皮膚を確認してください。赤みやあざ、黒ずみ (正常な皮膚と比較して) がある場合は、表面または深層の組織が損傷しているおそれがあり、手当てが必要です。皮膚・軟部組織が変色している場合は、直ちに使用を中止してください。使用中止から30分経過しても元に戻らない場合は、直ちに医師の診察を受けてください。
- クッションとカバーは適合するサイズを選び、本書の指示に従って使用してください。サイズが合わないとクッションの効果が損なわれ、皮膚・軟部組織に対するリスクが高まります。また、不安定になり車いすから転落するおそれがあります。

安全に関する重要事項(つづき)



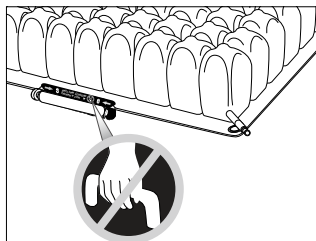
警告(つづき)

- 本書で指示がある場合を除き、このクッションを他の製品や器具の上に置いて使用しないでください。不安定になり、車いすから転落するおそれがあります。
- ご使用になる方とクッションの間に物をはさまないでください。本製品に適合したカバーのみをご使用ください。カバーの内外を問わず、ご使用になる方の下に物を入れるとクッションの効果が損なわれます。
- クッションを水中での救命具(ライフジャケット等)として使用しないでください。水中で体重を支える機能はありません。
- クッションを取り扱う際は、角のハトメに指をはさまないようにご注意ください。
- クッションを高熱、火気、高温の灰に晒さないでください。他の製品や器具と組み合わせた場合、可燃性を含む本製品の試験結果や認定内容をそのまま適用することはできません。本製品と組み合わせて使用するすべての製品の試験結果や認定内容をご確認ください。
- クッションの表面は、周囲の温度に応じて高温または低温になります。特にクッションが直接皮膚に触れる場合にはご注意ください。
- 本書に示した作業をご自身で実行できない場合は、サポートをご依頼ください。



注意

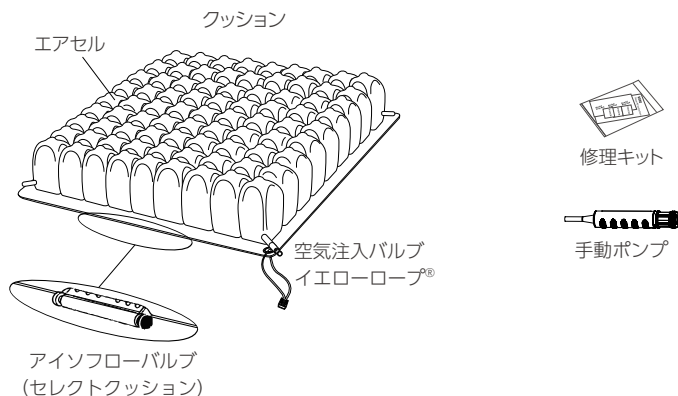
- ご使用の製品に適合しないポンプ、カバーまたは修理キットを使用すると、製品の保証が無効になる場合があります。
- クッションや部品は改造しないでください。製品が破損し、保証が無効になる場合があります。
- クッションは、油性のローションまたはラノリンに触れないようにしてください。素材が劣化する場合があります。
- オゾンに長期的に曝露すると素材が劣化して性能に影響を及ぼし、保証が無効になります。
- 高度の変化により、クッションの調整が必要になる場合があります。
- クッションには鋭利な物を近づけないでください。
- クッションを0℃以下の場所に設置し、通常より固くなった場合は、室温に戻るまでお待ちください。
- カバーと部品の破損や故障は定期的に点検し、必要に応じて交換してください。
- 空気注入バルブまたはアイソフローバルブを取っ手にしないでください。製品が破れる場合があります。持ち運ぶ際は、クッションのベース部分またはカバーの取っ手を持ってください。



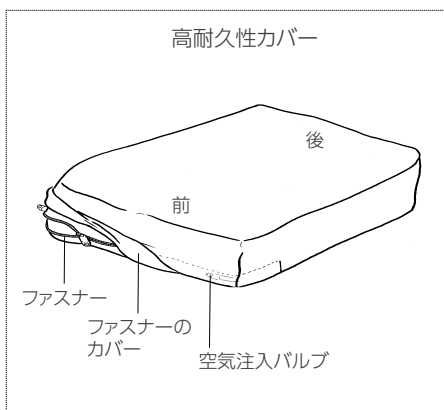
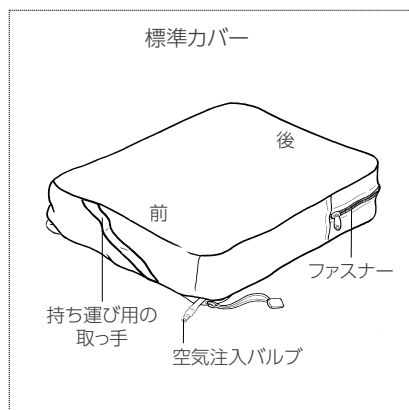
マークの意味：アイソフローバルブを取っ手にしないでください。製品が破れる場合があります。

各部について

パッケージ内容：クッション、カバー、修理キット、手動ポンプ、取扱説明書、限定保証、製品登録カード。交換用部品のご注文は、販売店またはカスタマーサポートまでご連絡ください。



シリアルナンバーのラベルはクッションの底面にあります。



素材：

クッション：ネオプレンゴム、ラテックス不使用

空気注入バルブ：Zytel (ナイロン樹脂)

アイソフローバルブ：ポリプロピレン、ポリカーボネート、アルミニウム

標準カバー：上部は左右に伸縮性があり、サイドには立体構造で編みこまれた生地（スペーサーファブリック）を使用。ファスナーは後面に配置、底面はすべり止め加工。素材と可燃性要件への適合性については、カバーのお手入れラベルをご確認ください。

高耐久性カバー：上部とサイドは伸縮性と耐水性があり、ファスナーはカバーの前面に配置。底面はすべり止め加工。素材と可燃性要件への適合性については、カバーのお手入れラベルをご確認ください。

クッションの調整

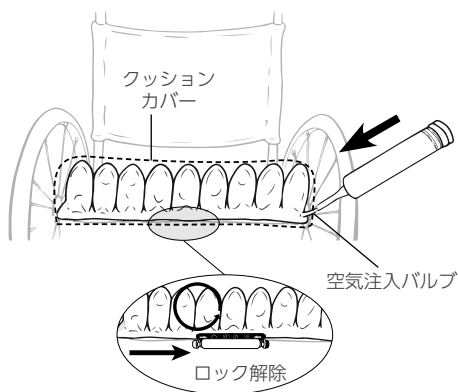


安全に関する重要事項:

- 1日1回は、空気圧を確認してください。
- 空気圧が不十分または過剰な状態でクッションを使用しないでください。効果が損なわれるだけでなく、皮膚・軟部組織へのリスクが高まるおそれがあります。クッションから空気が漏れていると思われる場合、クッションに空気を注入できない、または抜くことができない場合は「トラブルシューティング」をご確認ください。解決しない場合は、直ちに医師、介護者、販売店またはカスタマーサポートにご連絡ください。
- フックとループファスナーを使用し、クッションをさらにしっかりと座席に固定することをおすすめします。フックファスナーは別売です。

1. クッションに空気を注入する

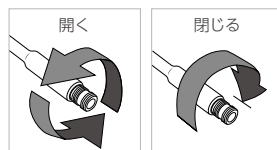
- a. クッションのエアセルを上向き、カバーのすべり止め加工を下向きにしてクッションを車いすに載せます。
空気注入バルブまたはアイソフローバルブ（セレクトクッションの場合）を所定以外の向きで使用する場合は、クッションを処方した医師にご確認ください。



- b. セレクトクッションでは：
すべてのセルに空気が行き渡るよう、空気を注入する前にアイソフローバルブを開いておいてください。アイソフローの緑のツマミをロック解除側に押します。

- c. 空気注入バルブを手動ポンプのノズルに差し込みます。空気注入バルブを1回転以上回して開きます。

お知らせ：空気注入バルブは、開いていれば自由に回転します。



- d. すべてのセルが固くなるまで空気を注入します。空気注入バルブを停止位置まで回し、バルブを閉じます。手動ポンプを取り外します。空気注入バルブがしっかり閉じていることを確認します。

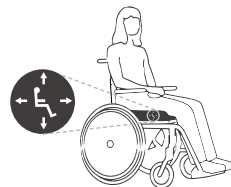
- e. すべてのバルブで注入を繰り返します。

クッションの調整(つづき)

2. クッションを調整する：

クッションの空気圧を通常以上に高めてから、適切に調整します。

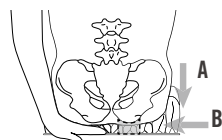
- クッションが真下にくるよう、通常の位置で着座します。
- クッションと臀部の間に手を入れます。脚を少し上げて坐骨結節（坐骨の隆起した部分）を確認したら、脚を降ろします。
- 坐骨結節の真下に手を置いたまま、空気注入バルブを開いて空気を抜きます。
- かろうじて指を動かせるようになるまで空気を抜き、バルブを閉じます。空気注入バルブがしっかり閉じていることを確認します。
- すべてのバルブで同様に調整します。



マークは製品の方向を示します。

適切な空気圧設定

■ = 1.5 cm - 2.5 cm



- A) クッションへの沈み込み
B) クッションからの浮き上がり

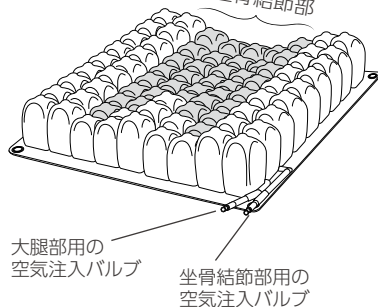
エンハンサーを調整する：

エンハンサーの空気圧を通常以上に高めてから、適切に調整します。

- 大腿部：内側のバルブを開き、圧と位置がちょうどよいところまで空気を抜きます。バルブを閉じます。
- 坐骨結節部：エンハンサーと臀部の間に手を入れ、坐骨結節を確認します。外側のバルブを開き、かろうじて指を動かせるようになるまで空気を抜きます。バルブを閉じます。
- 空気注入バルブがしっかり閉じていることを確認します。

エンハンサー

坐骨結節部



2バルブクッションを調整する：骨盤傾斜がみられる場合は、坐骨結節が深く沈んでいる方を先に調整します。前後の位置決めでは、最初に後方の空気室を調整します。セクションごとの調整を必ず再確認してください。

セレクトクッションを調整する：次のページをご覧ください。

クッションの調整(つづき)



可動域が制限された骨盤傾斜または可動域が制限された骨盤後傾に合わせてクアドトロセレクトクッションまたはコンツァーセレクトクッションを調整する：

- 1) 本書に記載されている調整に関するすべての指示に従って、クッションの空気圧を適切に調整してください。
- 2) アイソフローバルブから空気が抜けている間は、通常の着座位置についたままお待ちください。
- 3) 調整が済んだら、赤いツマミをロック側に押します。
- 4) 適切な空気充填ができているか、クッションの各空気室を再確認してください。

可動域がある骨盤傾斜または可動域がある骨盤後傾に合わせてクアドトロセレクトクッションまたはコンツァーセレクトクッションを調整する：

- 本書に記載されている調整に関するすべての指示に従って、クッションの空気圧を適切に調整してください。
- アイソフローがロック解除の位置になっていることを確認してください。
- 以下の指示に従ってください。

可動域がある骨盤傾斜：

- 1) 理想的な骨盤の位置に手動調整します。(例えば、左側の骨盤が右側より低くなる場合は、理想的な位置になるまで体を右側に傾ける、または右臀部を下向きに加重します。)
- 2) 赤いツマミを押し、ロック位置にします。
- 3) 適切な空気圧になっているか、クッションの各空気室を再確認してください。

可動域がある骨盤後傾：

- 1) 坐骨結節と座面の間に約2.5cmの空間があることを確認してください。必要に応じて、さらに空気を入れます。
- 2) 両膝を上げて骨盤にさらに体重をかけてクッション前部に空気を送り込みます。これにより、骨盤が収まる「ウェル」(座面のへこみ)が形成され、骨盤が前方にすべるのを防ぎます。
- 3) 赤いツマミを押し、ロック位置にします。
- 4) 適切な空気圧になっているか、クッションの各空気室を再確認してください。

カバーの取り外しと交換

! カバーの破損を確認し、必要に応じて交換してください。

備考：カバーを装着するとクッションの構成部品を保護することができます。また、エアセルがまとまるため、車いすの乗降がスムーズになります。

カバーの取り外し：ファスナーを開き、クッションからカバーを外します。

カバーの交換：カバーとクッションを裏返しにします。カバーのすべり止め加工面を上にし、ファスナーの開口部を手前にします。エアセルが下向きになる状態です。以下の指示に従い、クッションをカバーに挿入します。

クッション底面のラベルとカバーのマークを確認して、クッションとカバーを正しい向きでご使用ください。



標準カバーの場合	高耐久性カバーの場合
クッションの後側にファスナーがきます。	クッションの前側（空気注入バルブ側）にファスナーがきます。
クッションの四隅すべてがカバーの角の開口部に達していることを確認します。 空気注入バルブとイエローロープを開口部から丁寧に引き出します。	空気注入バルブとイエローロープをカバーの中に押し込みます。
ファスナーを完全に閉じます。エアセルが上面になるようクッションを上に向けめます。クッションがカバーにまっすぐ収まり、すべり止め加工が下側になり、すべてのエアセルが覆われた状態になります。	ファスナーを完全に閉じます。エアセルが上面になるようクッションを上に向けめます。クッションがカバーにまっすぐ収まり、すべり止め加工が下側になり、すべてのエアセルが覆われた状態になります。

トラブルシューティング

解決しない場合は、最寄りの販売店またはカスタマーサポートまでご連絡ください。

空気が漏れている	クッションに空気を注入します。空気注入バルブとホースに損傷がないか確認します。空気注入バルブがしっかり閉じていることを確認します。クッションのパンクを探します。穴が小さい場合、または目視で確認できない場合は本製品に付属の修理キットの説明書に従ってください。空気注入バルブまたはホースが損傷している場合、あるいは穴や漏れの程度が大きい場合は、限定保証をご確認いただくか、カスタマーサポートまでご連絡ください。
空気を注入できない、または空気が抜けない	空気注入バルブが開いていることを確認します。空気注入バルブとホースに損傷がないか確認します。セレクトクッションに空気を入れる場合：すべての空気室が膨らむよう、アイソフローバルブの緑のツマミがロック解除の位置（アイソフローの中央の方向）になっていることを確認してください。
快適に座れない、または安定しない	以下をご確認ください。 <ul style="list-style-type: none"> - 空気圧不足または過多（「クッションを調整する」を参照） - エアセルとカバーの座面が上になっている - クッションが着座位置からずれていない - ご使用になる方と車いすに適合するサイズのクッションを使用している。 クッションに体がなじむまで、少なくとも1時間はかかります。
クッションが滑る	クッションカバーのすべり止め加工面が底面になっていること確認します。クッション底面のラベルとカバーのマークを確認して、クッションとカバーを正しい向きにします。フックとループファスナーを使用し、クッションを車いすにさらにしっかりと固定することをおすすめします。フックファスナーは別売です。

クッションとカバーのお手入れ



警告：

- 洗浄と消毒は別のプロセスです。消毒の前に洗浄してください。別の方が使用される場合は、本製品を洗浄・消毒し、適切に機能していることをご確認ください。
- 漂白剤の表示、消毒剤の安全上のご注意に従ってください。
- 殺菌について：高温は、劣化や損傷の原因となります。本書に掲載されている製品は、殺菌状態で梱包されたものではありません。また、使用前に殺菌・殺菌を必要とする製品でもありません。病院、施設等のプロトコルで殺菌が必要な場合：指示に従い洗浄と消毒を行います。次に、空気注入バルブを開き、なるべく低温（70℃以下）かつ短時間で殺菌します。オートクレーブは使用しないでください。

カバーのお手入れ

洗浄と消毒の前にカバーの底面からフックファスナーの部品を取り外してください。同色のものと一緒に洗濯してください。

カバーを洗浄する：カバーを取り外します。中性洗剤と冷水（30℃）で、洗濯機のソフトコースで洗濯するか、中性洗剤とぬるま湯で拭き取ります。乾燥機は低温に設定して乾かします。



カバーを消毒する：家庭用の漂白剤と水（30℃）を1：9の割合に希釈して手洗いします。10分間浸け置きし、その後よくすすぎます。または、洗濯機に入れ、温水（60℃）で洗濯します。乾燥機を低温に設定して乾かします。



クッションのお手入れ



警告：洗浄・消毒の際は製品内に水が入らないよう、空気注入バルブを閉じてください。



注意：研磨材（スチールウール、研磨パッド）、食洗器用苛性洗剤、石油系溶液または有機溶剤（アセトン、トルエン、メチルエチルケトン：MEK、ナフサ、ドライクリーニング液、シールはがし液など）を含む洗剤、油性ローション、ラノリン、オゾンガス、紫外線による洗浄はクッションの損傷の原因となります場合があります。



注意：直射日光を避けてください。

クッションの手洗いと手作業での消毒(推奨方法)

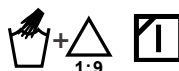
クッションの手洗い：カバーを外して空気注入バルブを閉じ、大きめのシンクに入れます。中性液体洗剤、台所用洗剤、洗濯用洗剤または多用途洗剤で手洗いします。

（製品のラベルの指示に従ってください。）柔らかいプラスチック製のブラシ、スポンジまたは布でクッションの表面をやさしくこすって洗います。きれいな水ですすぎ、自然乾燥させます。



注意：すすぎは十分にしてください。洗剤が残っていると、エアセル同士が貼りついてしまう場合があります。

手作業でのクッションの消毒：家庭用の漂白剤と水を1：9の割合に希釈し、手洗いの手順で洗います。10分間浸け置きし、きれいな水で十分にすすぎ、自然乾燥させます。



クッションとカバーのお手入れ(つづき)

洗濯機での洗濯と消毒



警告:

- 洗浄・消毒の際は製品内に水が入らないよう、空気注入バルブを閉じてください。
- 洗濯機をご使用になると、クッションの亀裂など、劣化と損傷の原因になります。また、必要な製品情報の表示がはがれる場合があります。クッションは手洗い、手作業での消毒、自然乾燥を強く推奨します。
- 高温水により、本製品が変色したり、ラベルがはがれる場合があります。
- クッションは70℃以上の高温下に置かないでください。部品が破損する場合があります。
- 洗濯機で洗浄・殺菌する場合は、洗濯機の容量をご確認ください。容量が十分でないと、汚れを除去できない場合があります。
- 損傷した製品を使用すると、効果が低下するだけでなく、皮膚・軟部組織へのリスクが高まります。

洗濯機での洗浄する場合の準備:

- 1) カバーを外し、空気注入バルブを閉じます。クッションに損傷がないか確認し、穴はすべて修理しておきます。(本製品に付属している修理キットの説明書に従ってください)。
- 2) 必要に応じて汚れやおいを取り除きます。クッションを消毒洗浄剤が入った温水に浸します。柔らかいプラスチック製ブラシでやさしくこすり、きれいな水ですすぎます。
- 3) 空気注入バルブを開き、クッションをバルブと反対側の角から丸めてできるだけ空気を抜き、空気注入バルブを閉じます。
- 4) クッションが傷つかないよう、洗濯機に鋭利な部分がないか確認します。

洗濯機での洗浄:

- 1) クッションを洗濯ネットに入れ、洗濯機に入れます。クッションを折り曲げる場合はエアセルが外側になるようにします。
- 2) めるま湯 (30℃～40℃) を使用し、洗濯用洗剤、または洗濯機やクッションに無害な洗剤/バイオサイド (殺生物剤) を洗剤投入口に入れます。
- 3) 高速回転しない、ソフトコースを設定します。



注意: 十分にすすいでください。洗剤が残っていると、エアセル同士が貼りついてしまう場合があります。

洗濯機での消毒:

60℃の温水を使用し、洗濯機の指示に従います。バイオサイドを使用します (メーカーの指示に従ってください)。ていねいに漂白します。家庭用の漂白剤と水は必ず1:9の割合で希釈し、きれいな水ですすぎます。



クッションを洗濯ネットから出し、自然乾燥させます。お急ぎの場合は、手持ち式のヘアードライヤーを使用します。クッションから15cm以上離し、振りながら乾燥させます。



警告: ネオプレンゴムが過熱すると製品が損傷するおそれがあります。

お手入れの表示

	冷水での手洗い、最高温度は表示のとおり		洗濯機のソフトコース、冷水、最高温度は表示のとおり		
	温水、洗濯機のスタンダードコース、最高温度は表示のとおり		洗濯機のソフトコース、ぬるま湯、最高温度は表示のとおり		
	手洗い		陰干し		乾燥機は低温のみ
	手持ち式のドライヤーを使用		漂白（漂白剤：水＝1：9）		

製品仕様

標準クッションの寸法と重量：

クッション	高さ	平均重量*
ロータイプ1バルブクッション	5.5 cm	1.1 kg
ロータイプ2バルブクッション	5.5 cm	1.1 kg
ロータイプクアドトロセレクト	5.5 cm	1.1 kg
ミドルタイプ1バルブクッション	8.5 cm	1.4 kg
ミドルタイプ2バルブクッション	8.5 cm	1.4 kg
ミドルタイプクアドトロセレクト	8.5 cm	1.4 kg
ハイタイプ1バルブクッション	10.5 cm	1.5 kg
ハイタイプ2バルブクッション	10.5 cm	1.5 kg
ハイタイプクアドトロセレクト	10.5 cm	1.5 kg
コンツァーセレクト	5.5～10.5 cm	1.6 kg
エンハンサー	5.5～10.5 cm	1.6 kg

*備考：平均重量は、9×9セル（42.0cm×42.0cm）のクッションを基準としています。

クッション	最小幅		最小奥行		最大幅		最大奥行	
	エアセル	cm	エアセル	cm	エアセル	cm	エアセル	cm
ロータイプ1バルブクッション	6	29.0	6	29.0	13	59.5	11	50.5
ロータイプ2バルブクッション	6	29.0	6	29.0	11	50.5	11	50.5
ロータイプクアドトロセレクト	5	28.0	6	30.0	13	62.5	12	56.0
ミドルタイプ1バルブクッション	7	33.5	7	33.5	11	50.5	11	50.5
ミドルタイプ2バルブクッション	8	37.5	9	42.0	8	37.5	9	42.0
ミドルタイプクアドトロセレクト	8	41.0	8	38.5	11	54.0	11	51.5
ハイタイプ1バルブクッション	6	29.0	6	29.0	15	68.0	14	59.5
ハイタイプ2バルブクッション	6	29.0	6	29.0	11	50.5	12	55.0
ハイタイプクアドトロセレクト	6	32.5	6	30.0	14	67.0	14	60.0
コンツァーセレクト	7	36.5	8	38.5	13	62.5	12	56.0
エンハンサー	8	37.5	8	37.5	11	50.5	11	50.5

備考：実際のクッションの寸法は、カスタマーサポートまでお問い合わせください。

クッションの耐用年数：5年

保管・廃棄・リサイクル

保管：保管前に、洗浄と消毒を行います。空気注入バルブを開き、製品の空気を抜きます（部品はすべて取り外します）。製品を湿気、汚染、破損から守る容器に収納します。

廃棄：本書に記載の製品は、適切に使用し、地域の規制に従って廃棄した場合、その構成部品が既知の環境危険因子に関連することはありません。焼却する場合は、認可を受けた正規の廃棄物管理施設で処理してください。

リサイクル：本製品のリサイクル方法については自治体にご確認ください。リサイクルの詳細については、カスタマーサポートにお問い合わせください。

限定保証

本製品のお買い上げ日から起算した限定保証の期間：セレクトクッション：36か月。その他のすべてのドライブローテーション製品：24か月。本保証は、パンク、破れ、焼け焦げ、誤使用、不正使用には適用されません。また、取り外し可能なカバーにも適用されません。詳細は、本製品に付属の限定保証をご確認いただくか、カスタマーサポートにお問い合わせください。



ペルモビール株式会社

〒135-0004 東京都江東区森下2-7-6

TEL : 03-6659-9500

FAX : 03-6659-9507

MAIL : Info.jp@permobil.com

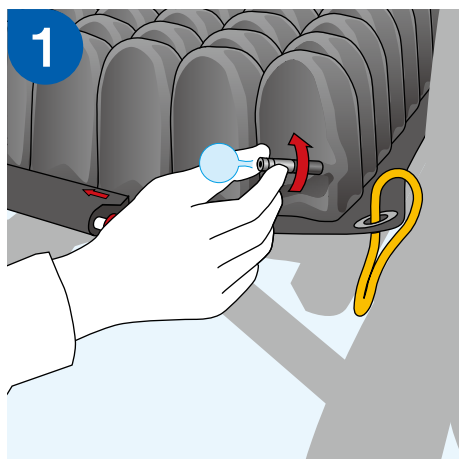


MDSS GmbH
Schiffgraben 41
30175 Hannover, Germany

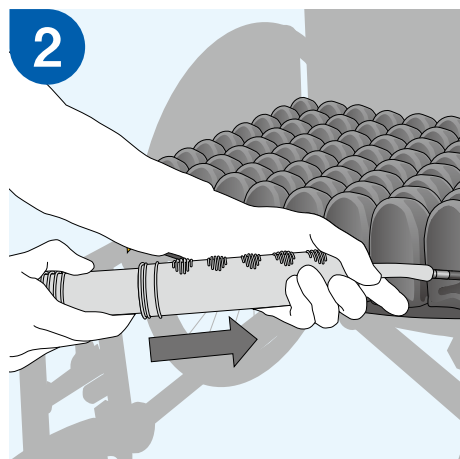


□ホクッションの 基本的な調整方法

□ホ・ロー/ミドル/ハイトイプ
□ホ・モザイククッション
□ホ・ハイブリッドエリート
□ホ・ハーモニークッション



バルブを反時計回りに回して開けます。

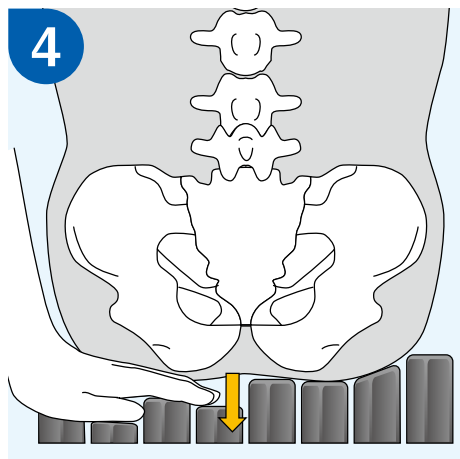


ポンプをバルブに差し込み、クッションが膨らむまで空気を入れ、バルブを時計回りに回して閉めます。

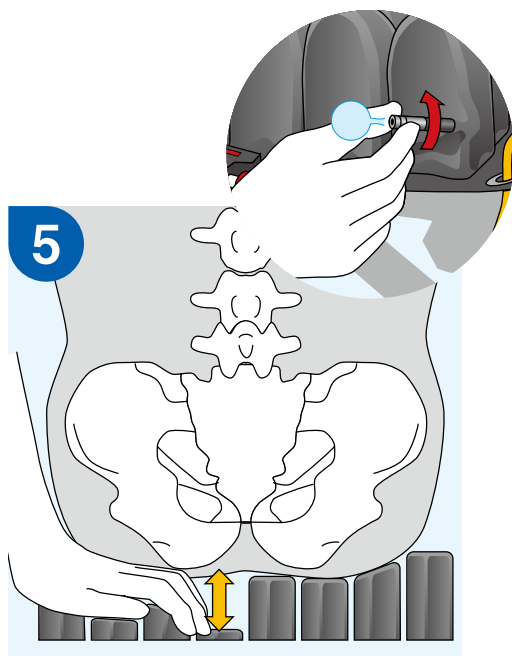
※空気量は毎日確認してください。



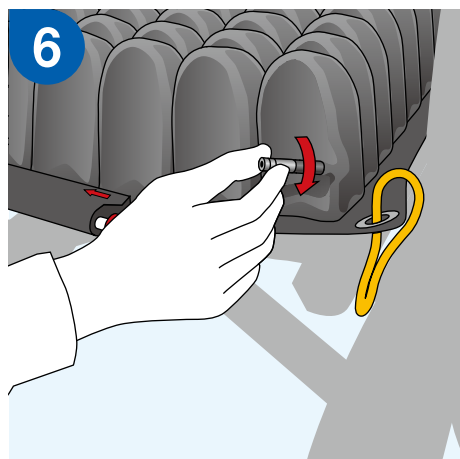
クッションの上に座ります。奥までしっかりと座ってください。



脚を少し上げて、クッションと臀部の間に手を入れます。坐骨（おしりの骨）を確認したら、脚を降ろします。

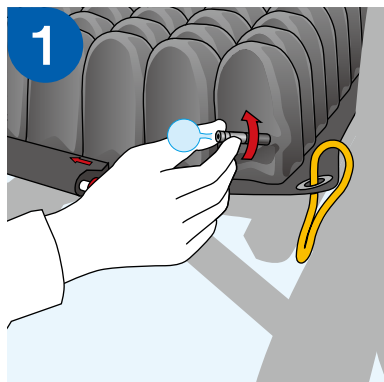


バルブを回して開け、かろうじて指を動かせるようになるまで空気を抜きます。
(図中矢印=1.5 cm～2.5 cm)

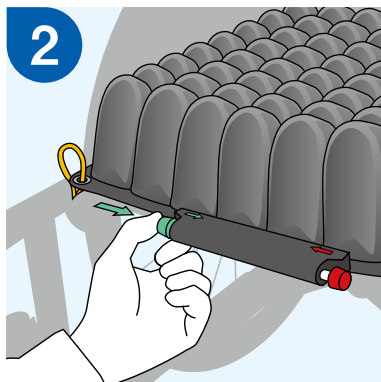


バルブを時計回りに回して閉めます。

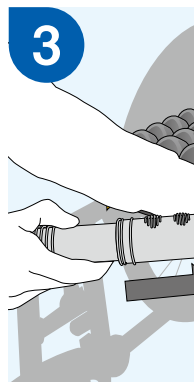
口ホクッションの調整



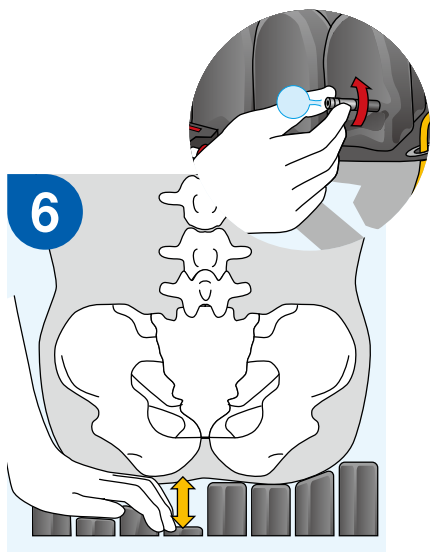
バルブを反時計回りに回して開けます。



緑のボタン（アイソフローバルブ）を押し、空気をクッション全体に入れる準備をします。



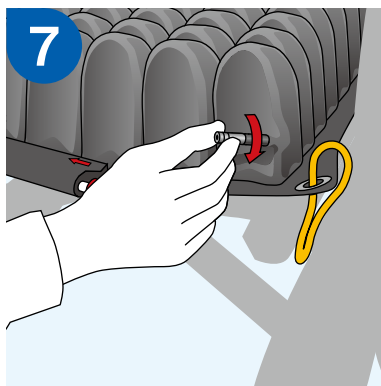
ポンプをバルブに接続し、クッションが膨らむまで空気を注入します。バルブを時計回りに回して閉めます。



バルブを回して開け、かろうじて指を動かせるようになるまで空気を抜きます。

（図中矢印＝1.5 cm～2.5 cm）

※空気量は毎日確認してください。



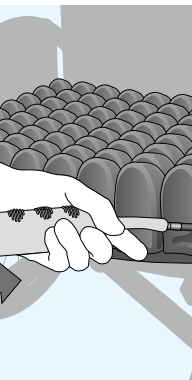
バルブを時計回りに回して閉めます。



着座し、安定した姿勢を保ちます。

方法

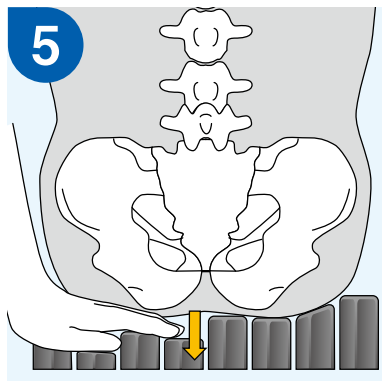
□ホ・クアドトロセレクトクッション
(ロー/ミドル/ハイトイプ)
□ホ・コンツァーセレクトクッション



に差し込み、クッ
まで空気を入れ、
リに回して閉めま



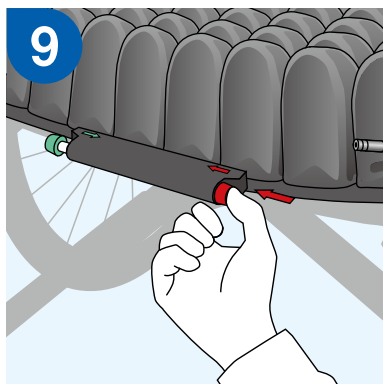
クッションの上に座ります。奥ま
でしっかりと座ってください。



脚を少し上げて、クッションと臀
部の間に手を入れます。坐骨（お
しりの骨）を確認したら、脚を降
ろします。



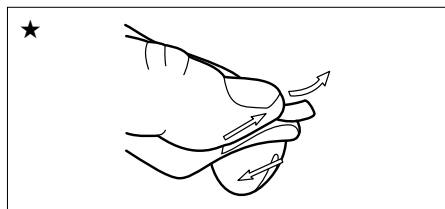
姿勢にします。



赤のボタン（アイソフローバルブ）
を押します。4つの空気室がその
圧で保持されます。調整後、再度
底づきがないか確認します。

permobil

修理キットの使い方



製品情報は変更される場合があります。

修理キットの内容：

- 2×2 cm 正方形シール 3 枚
- 消毒綿（イソプロパノール含有）3 枚

用意するもの：シンクまたは水を張った洗面器、クロス、油性マーカー、スプーン（またはスプーンと形状が近いもの）

お問い合わせ

ペルモビール株式会社
〒135-0004
東京都江東区森下2-7-6
Pkk.Support@permobil.com
電話 03-6659-9500
FAX 03-6659-9507

空気漏れを確認する：

備考：QUADTRO SELECT®（クアドトロセレクト）および CONTOUR SELECT®（コンツァーセレクト）クッションについては ISO FLO Memory Control®（アイソフローパーブ）を開きます。

1. 製品空気を入れ、すべてのバルブを時計回りに回して閉じます。製品を水に浸け、気泡で空気漏れを確認したら水中から取り出します。

修理の準備をする：

2. 穴あき部分の水分をクロスで拭き取ります。穴の周りに油性マーカーで印をつけます。
備考：マーカーのインクでシールの粘着力が低下することはありません。
3. 消毒綿で穴あき部分を拭き、乾いた清潔なクロスでアルコール分を拭き取ります。重要：穴の周りに水分、油脂、洗剤、石鹸が残らないようにします。自然乾燥させます。
4. すべての空気注入バルブを反時計回りに回し、空気を抜きます。シールを貼り付けやすくなるため、十分に空気を抜きます。

シールを貼り付ける：

5. 親指と人差し指でシールの一端をつまみます（★イラスト参照）。もう一方の手で、シールを台紙からはがします。備考：シールの粘着面に触れると、粘着力が低下します。
6. 穴がシールの中央にくるように位置を調整しながら、シールが台紙から離れている部分を製品に貼り付けます。穴にシールを押さえつけながら、残りの台紙を少しずつはがします。推奨：シールは平らなところで貼り付けます。

空気を抜く

7. スプーンの背などを使って、中央から周囲に向かってシールを強く押し付けます。シールから光沢がなくなるまで、シールの下に入った空気を押し出します。
8. シールを貼り付けたら、5 分間以上間隔をあけて空気を入れ、使用してください。



ROHO® 製品限定保証



購入日： 年 月 日	製品名： シリアル番号：
販売店：	

ROHO® 製品限定保証

保証対象：材料および製造上の欠陥

保証期間：製品によって異なります。詳細は製品に付属の取扱説明書をご確認ください。

保証期間の起算日は販売元から利用者へ販売した日付となります。

保証対象外：使用方法を誤った場合、事故や自然災害（洪水、竜巻、地震、火災など）による損傷、純正の付属品以外を使用された場合、または改造された場合。

保証を受ける場合：購入元にお問い合わせください。事前の承諾なくお送りいただいた製品は、返送いたします。

その場合、送料はお客様のご負担となります。

免責事項と保証の制限：商品の品質・機能に対する保証および商品が購入者の特定の目的と合致していることの保証その他取扱説明書等で明示された保証は、取扱説明書に記載された期間内に限り行います。また、保証の不履行に対する法的措置は、上記期間内に行うこととします。ペルモビールは、保証の不履行あるいはその他の結果による損害であるかに関わらず、偶発的または付随的損害について一切責任を負いません。

返品条件：新品未使用の場合に限り、事前にカスタマーサポートにお問い合わせください。返品手数料がかかる場合があります。

カスタマーサポート
ペルモビール株式会社
〒135-0004 東京都江東区森下2-7-6
Info.jp@permobil.com
電話 03-6659-9500 FAX 03-6659-9507